

2019 郷土の作家たち

進木富夫がつくる和紙あかり

- [主 催] 北栄町教育委員会
[開館時間] 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時45分)
[休 館 日] 会期中無休
[入 館 料] 無料
[催 し 物] ワークショップ「自分の和紙あかりをつくろう」
9月22日(日)午後1時30分から(2時間程度)
費用(材料費):3,000円
定員:10名(先着)
※申込先 北栄みらい伝承館 0858-36-4309

北栄みらい伝承館
(北条歴史民俗資料館)

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井47-1
TEL 0858-36-4309
H P <http://www.e-hokuei.net/2202.htm>
E-mail h-rekishi@e-hokuei.net

9/14(SAT)～
10/6(SUN)

2019年「たおやか」

北栄みらい伝承館(北条歴史民俗資料館)では、町にゆかりのある芸術分野の作家を取り上げ「郷土の作家たち」を開催しており、今回は進木富夫氏の工芸作品を紹介します。

進木富夫氏は1945年、関金町(現倉吉市)に生まれ、大学卒業後県内小・中学校で教鞭をとり、倉吉西中学校校長を最後に退職します。退職後、近在のランプ作家に触れたことを契機にランプ制作を始め、以後独創を重ねながら独自に和紙を組み合わせたランプシェードを考案していきます。その後、2009年、青谷和紙工房主催5回記念コンテストで「大賞」を受賞。また、倉吉「紙あかり展」で準大賞を受賞し、2011年には「遊楽隣工房」を立ち上げ、和紙あかりを通じた普及活動を展開します。2013年、その活動の様子がTV番組「人生の楽園」に取り上げられ現在も多くのファンが工房に訪れています。

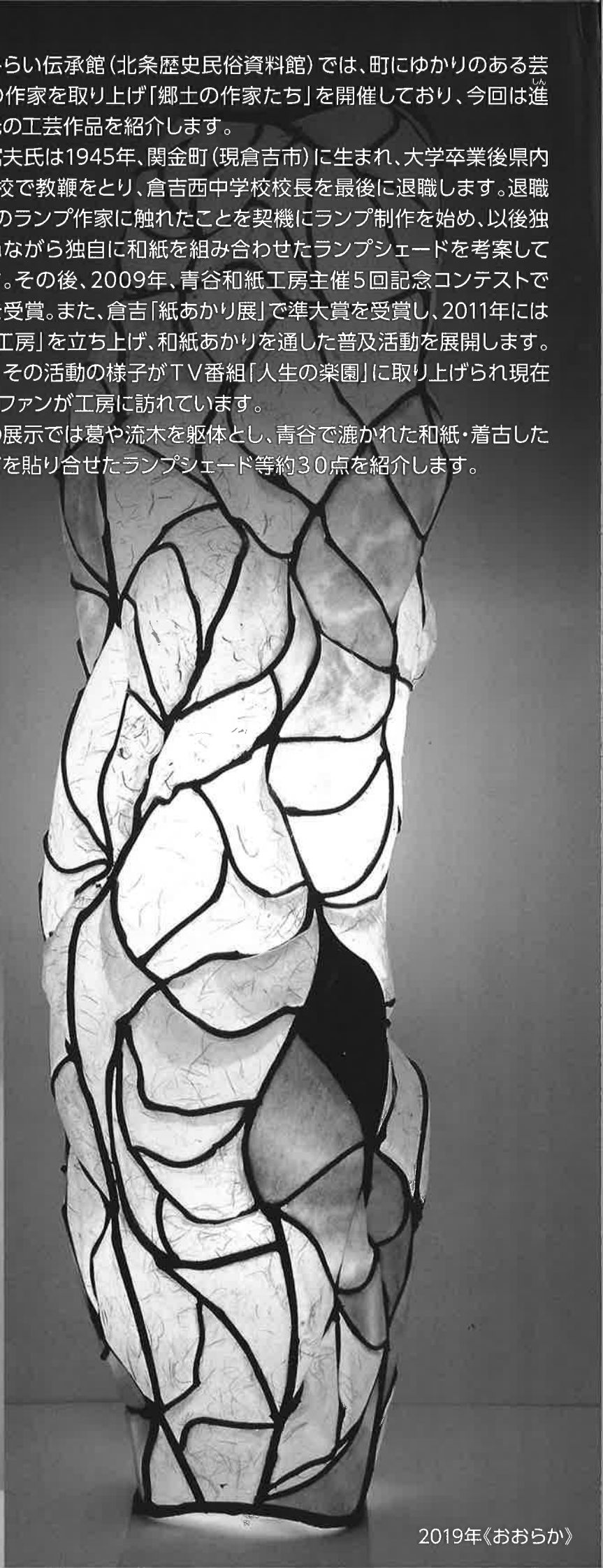
今回の展示では葛や流木を躯体とし、青谷で漉かれた和紙・着古した着物などを貼り合せたランプシェード等約30点を紹介します。



2019年《ちとせ》



2014年《つくよ》



2019年《おおらか》